

令和7年度 第5回 消費生活eモニターアンケート集計

1 調査趣旨

◎消費生活とごみの減量・リサイクルについて

川崎市では、資源物の分別収集の拡充など、ごみの減量化・資源化の取組を進めており、市民・事業者の皆様の協力によりごみ排出量は着実に減少し、令和5年度の1人1日あたりのごみ排出量が政令市最少となりました。

一方、プラスチックや紙類などの多くの資源物が普通ごみとして捨てられ焼却されており、地球温暖化の防止に向けて、更なる3Rの推進が求められています。

そこで、川崎市のごみの減量・リサイクルの取組を知っていただくとともに、ごみに関する消費者の実態と意識を調査し、今後の行政の参考資料とするためにアンケートを実施いたします。

◎地球温暖化対策について

川崎市では、2050年の脱炭素社会の実現に向けて、市民・事業者・行政が一丸となって取組を加速していくために、脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」を策定し、二酸化炭素(CO₂)の削減や地球温暖化防止の取組を進めています。

今回は、脱炭素社会の実現に向けて、温暖化等に関する意識や環境配慮行動の取組を調査し、今後の施策の参考とするため、アンケート調査を実施いたします。

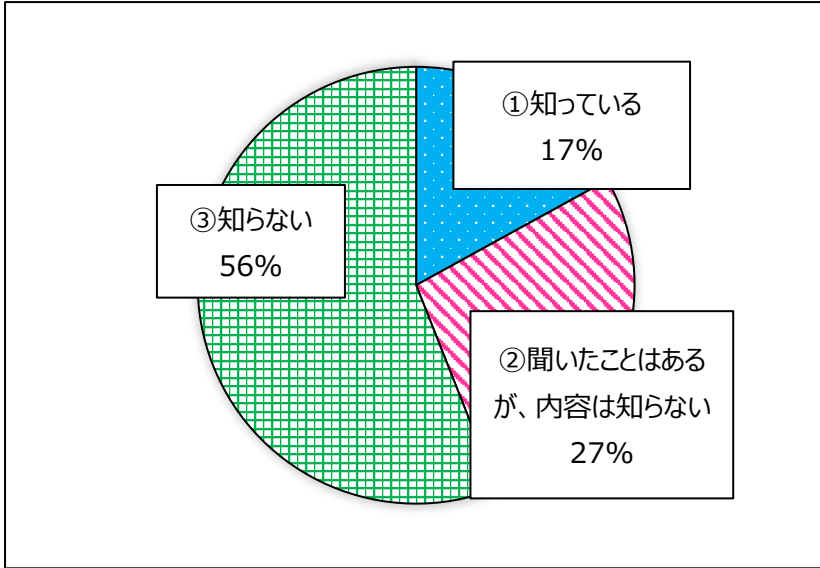
- 2 調査事項 「1. 消費生活とごみの減量・リサイクルについて」
「2. 地球温暖化対策について」
- 3 調査対象 第5期消費生活eモニター 57名
(1. 回答者数48名・回収率84%、
2. 回答者数47名・回収率82%)
- 4 調査方法 市ホームページの回答フォームによる

- 集計結果について、四捨五入の結果や複数回答の集計によるため、合計が100%とならない場合があります。
- 調査結果中の「回答者数」は「調査対象者」から「未提出者」を除いた数としました。
- 自由回答、その他意見は一部抜粋。



1. 消費生活とごみの減量・リサイクルについて

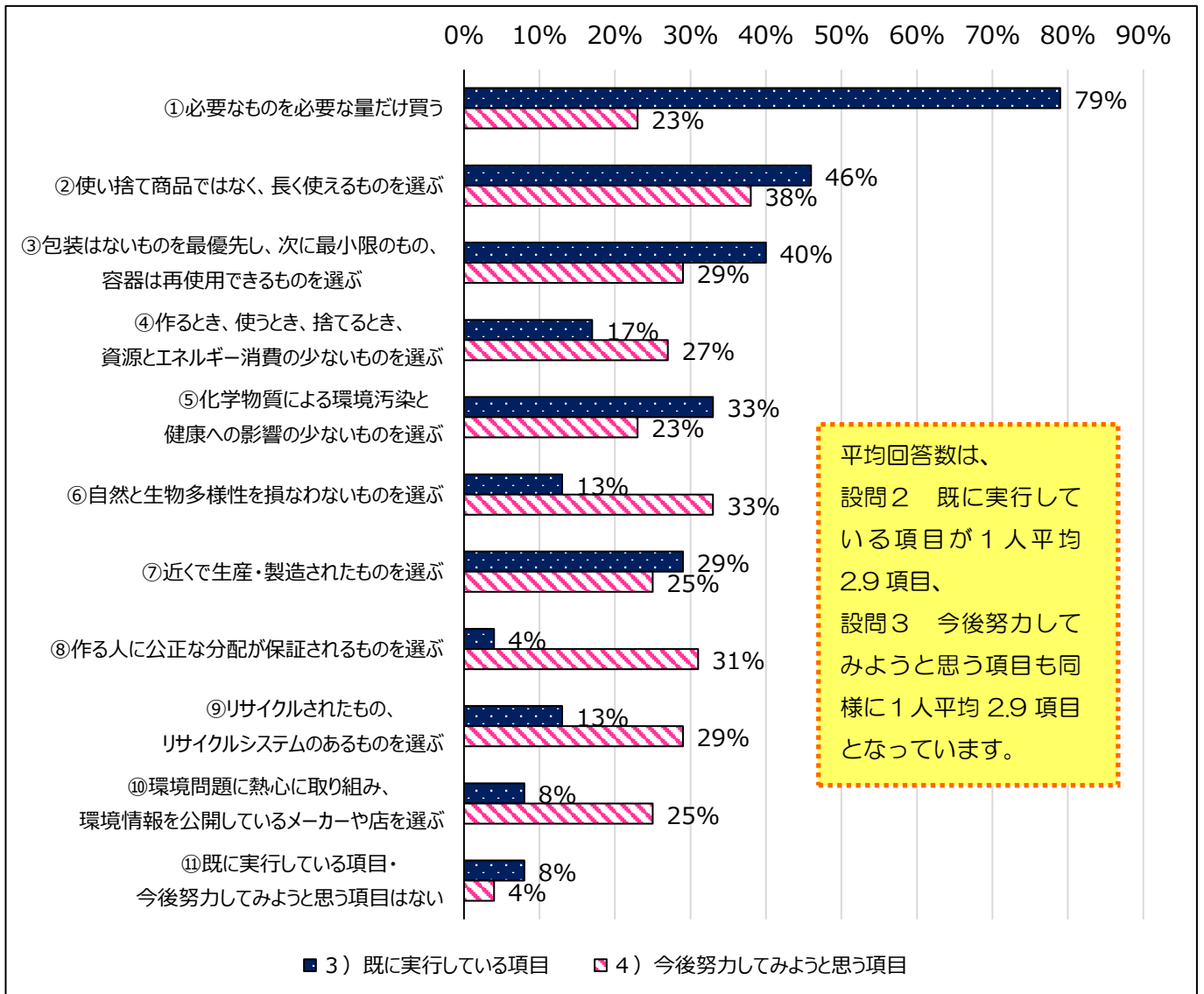
《グリーンコンシューマーとその行動について》



設問1 グリーンコンシューマーを御存知でしたか。

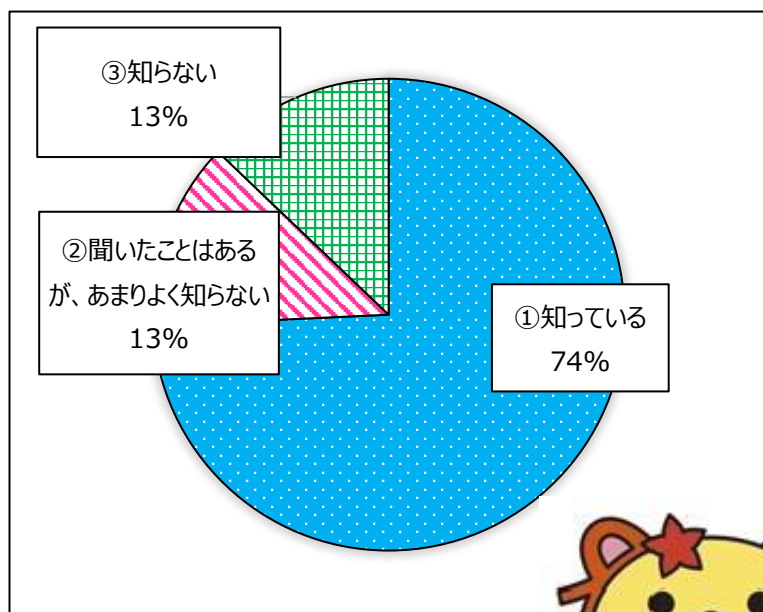
“グリーンコンシューマー”とは、環境に配慮した行動をする消費者のことです。

設問2、3 次のグリーンコンシューマー10原則（グリーンコンシューマー全国ネットワーク著「グリーンコンシューマーになる買い物ガイド」より）の中で、『既に実行している項目』『今は実行していないが、今後努力してみようと思う項目』があれば、お選びください。（複数回答可）



平均回答数は、
設問2 既に実行している項目が1人平均2.9項目、
設問3 今後努力してみようと思う項目も同様に1人平均2.9項目となっています。

設問4 “3R”という言葉を知っていますか。



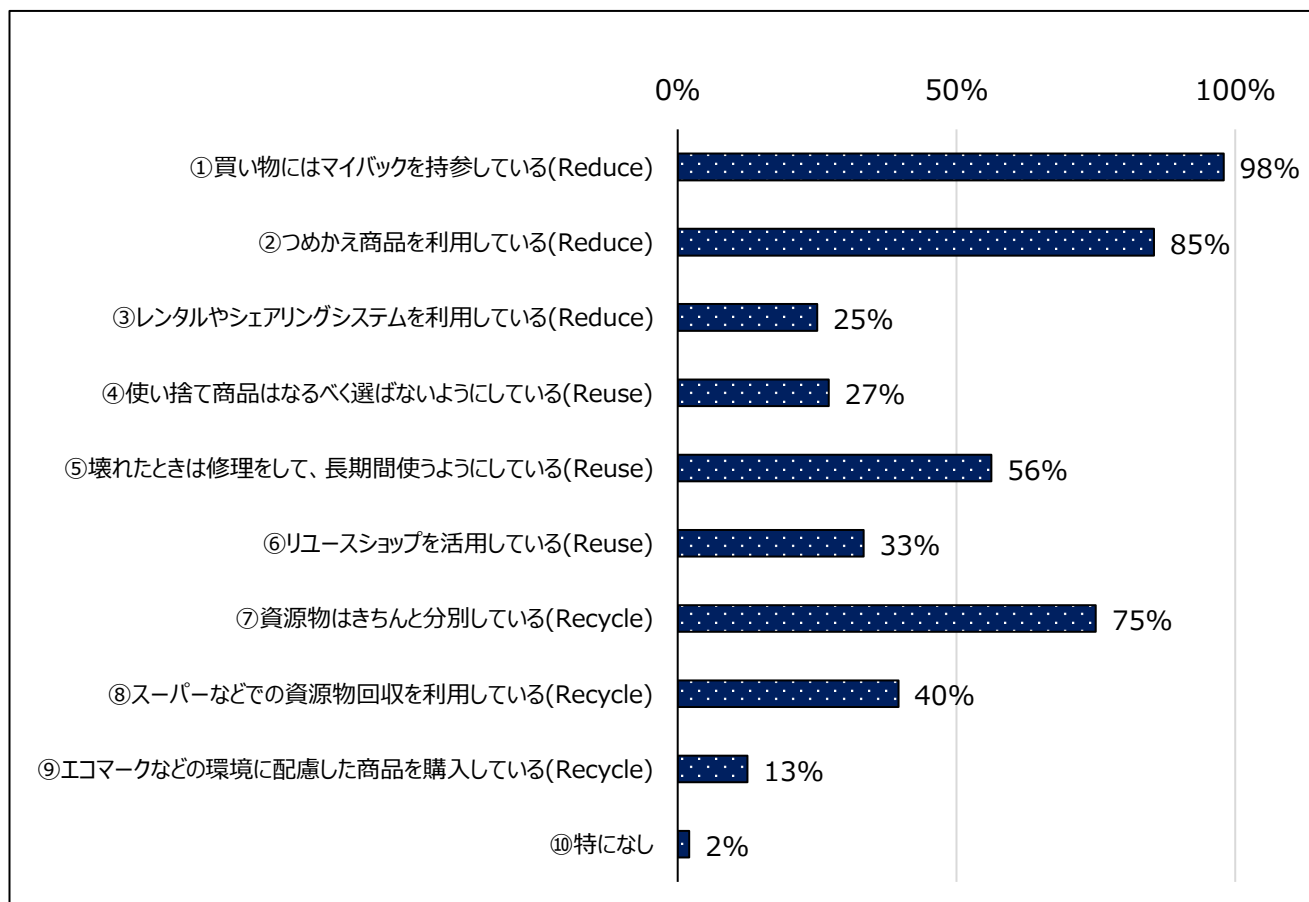
“3R”とは、
 Reduce（リデュース）⇒発生・排出抑制：物を大切に使い、ごみを減らすこと。
 Reuse（リユース）⇒再使用：使える物は繰り返し使うこと。
 Recycle（リサイクル）⇒再生利用：ごみを資源として再び利用すること。
 の言葉の頭文字の3つのRのことです。

かわさき 3R 推進キャラクター。生まれも育ちも川崎で、3Rの大切さを伝える妖精です。耳と体の3つのRで「3R」を表しています。

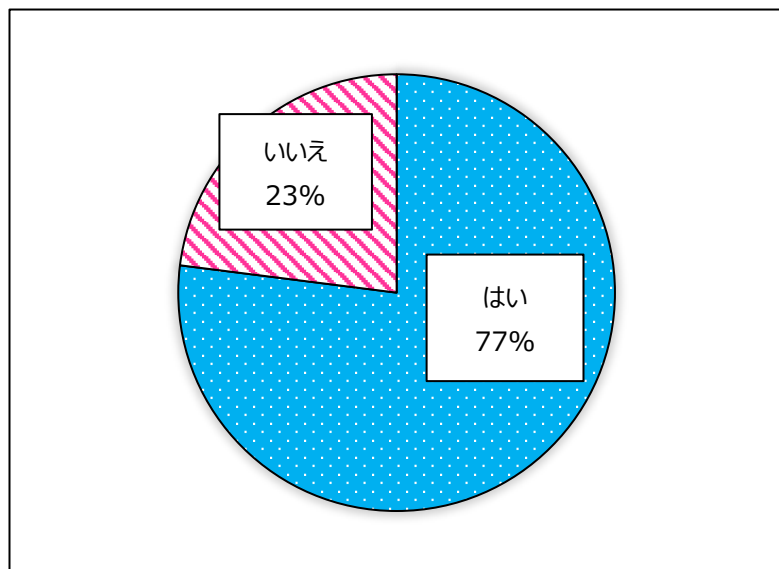


かわるん

設問5 “3R”の中で、あなたが実践していることを選んでください。（複数回答可）

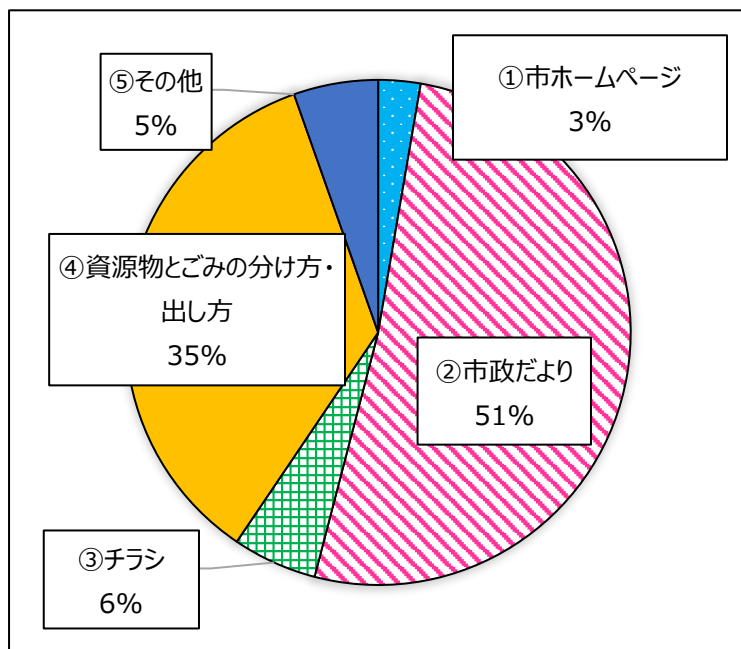


設問6 川崎市の新しいごみ回収方法である、プラスチック資源の収集について御存知ですか。



川崎市では、これまで普通ごみとして焼却していたプラスチック製品をプラスチック製容器包装と一緒に「プラスチック資源」として収集しリサイクルする取組を、令和6年度に川崎区で開始し、令和7年度に幸区・中原区に拡大、令和8年4月に全市で実施することとしています。

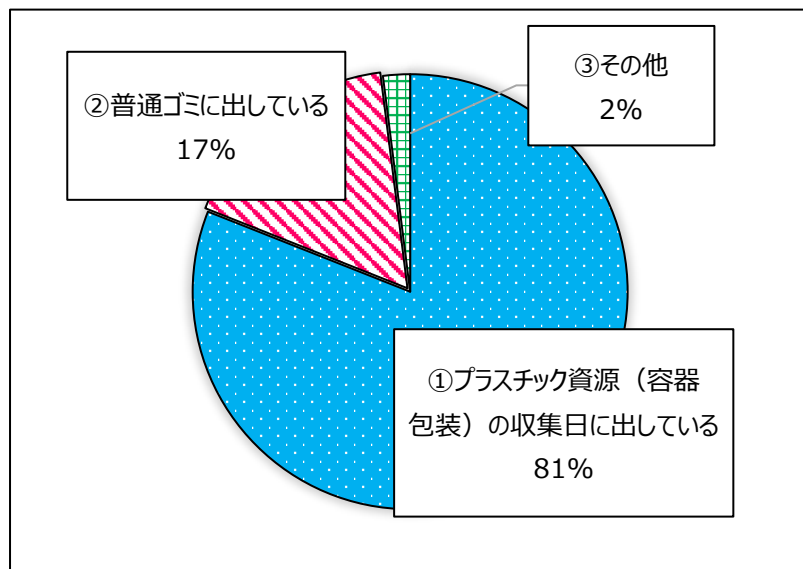
設問7【設問6で「はい」と答えた方】何で知りましたか。



その他の内容

- ・回覧
- ・駅のポスター

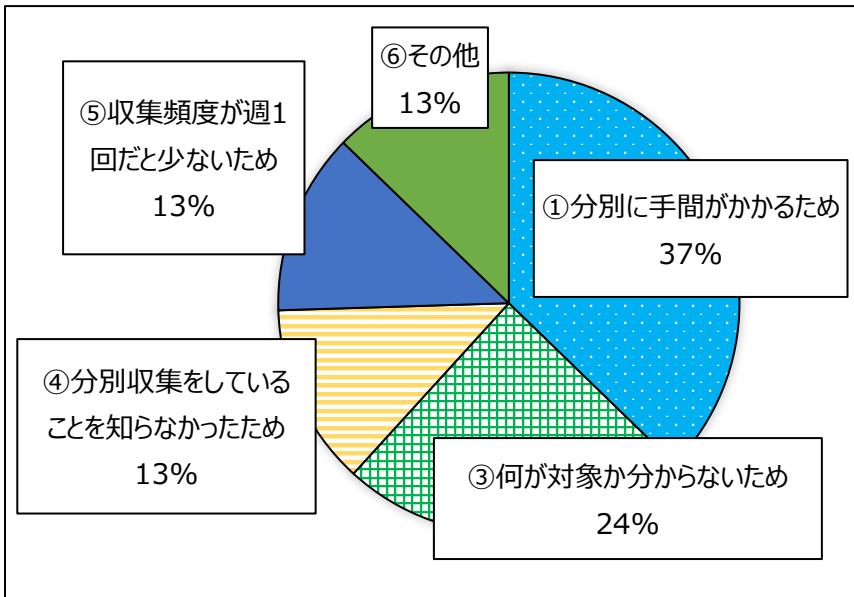
設問8 プラスチック資源（容器包装）は主にどのように出していますか。



その他の内容

別枠のBOXがあり、そこに出している。

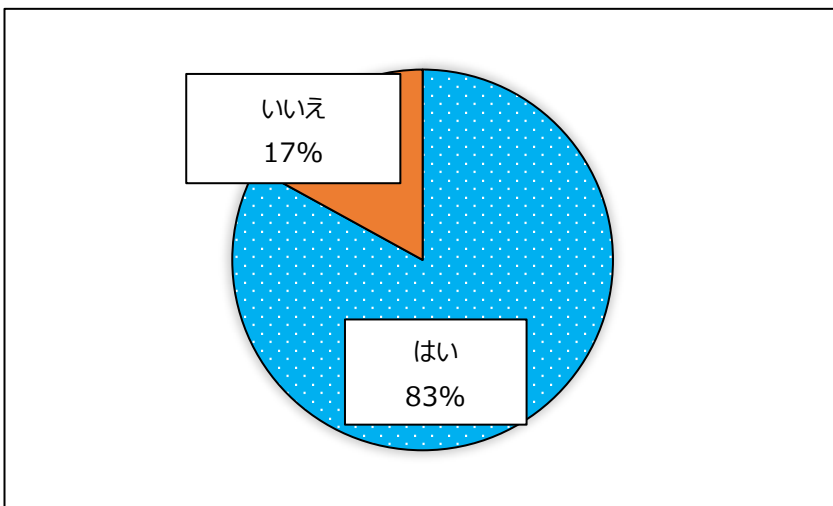
設問9【設問8で「普通ごみに出している」と回答の方】普通ごみに出している理由は何ですか。



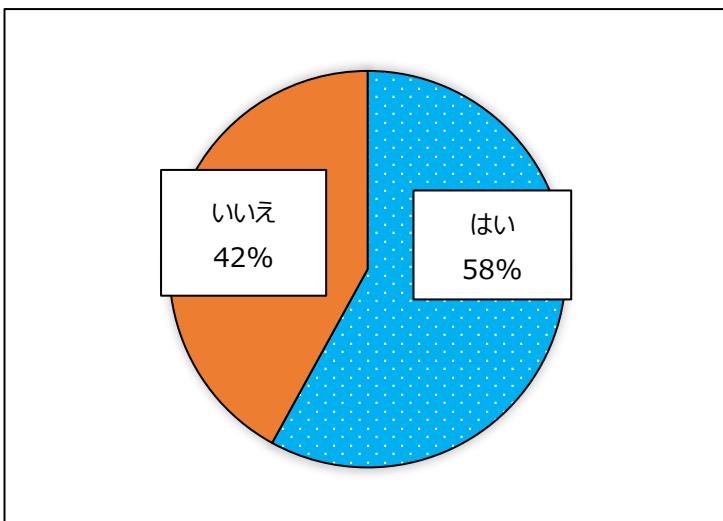
その他の内容

まだ回収対象ではないため。

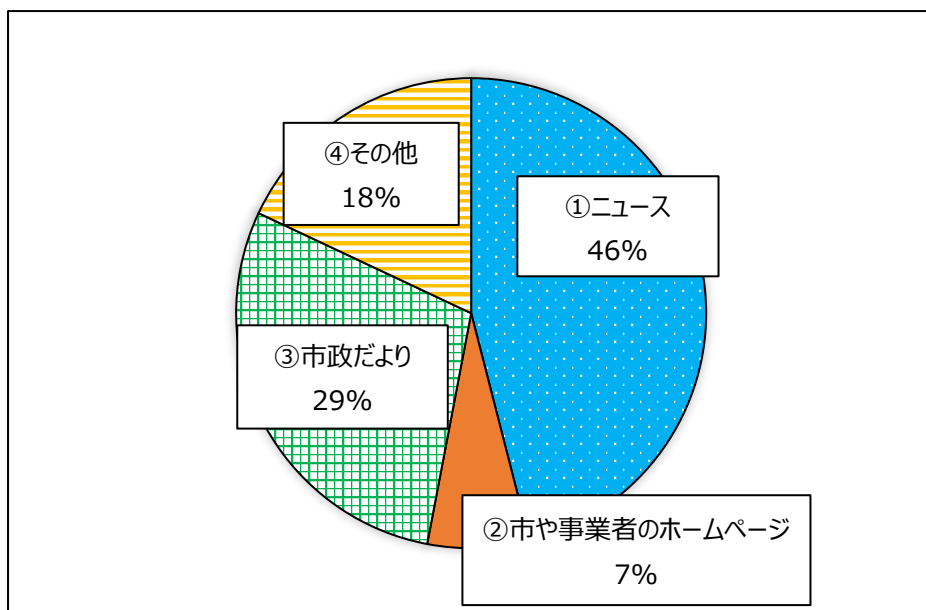
設問10 プラスチックは燃やすと温室効果ガスが多量に出てしまうことを知っていますか。



設問11 分別されたペットボトルやプラスチック資源（容器包装）は市内事業者の高度な技術で新たなペットボトルや水素、プラスチック製品等に生まれ変わっていることを知っていますか。



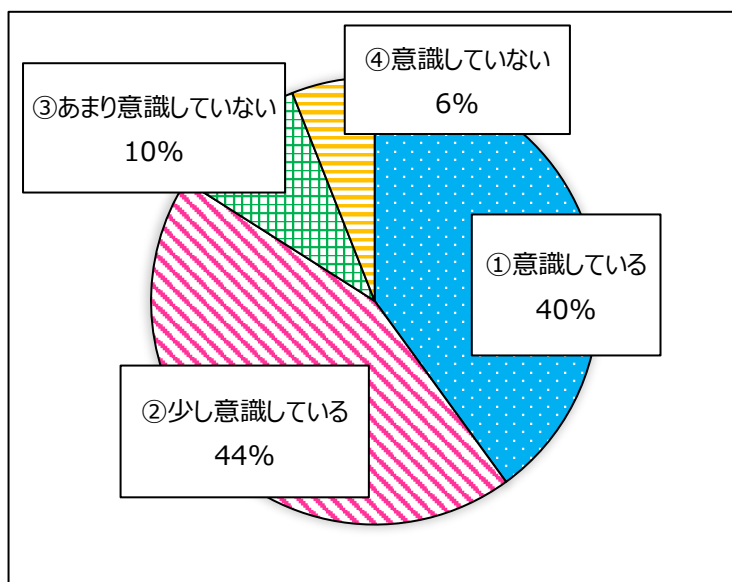
設問12 設問11で「はい」と答えた方にお聞きします。何で知りましたか。



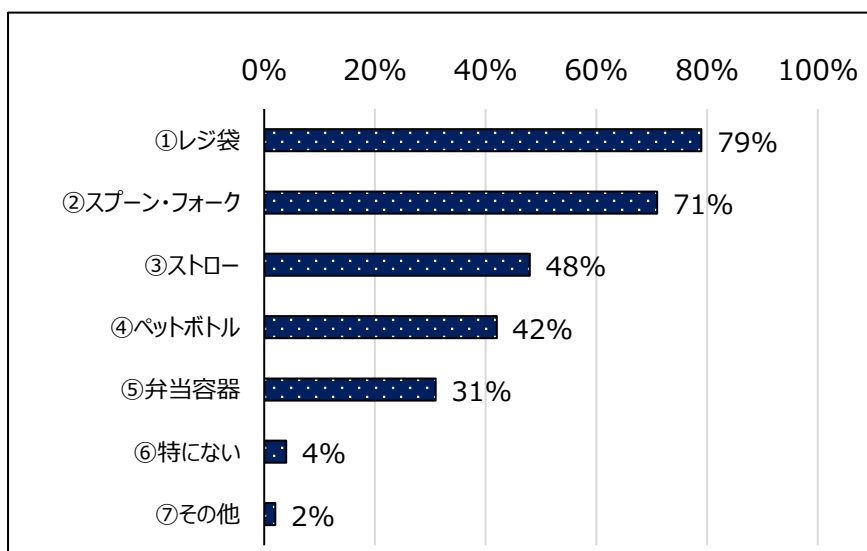
その他の内容

- 工場見学時
- 王禅寺エコ暮らし環境館
- 小学校の授業
- イベント

設問13 使い捨てのプラスチック製品（レジ袋やスプーン等）を使わないように意識していますか。



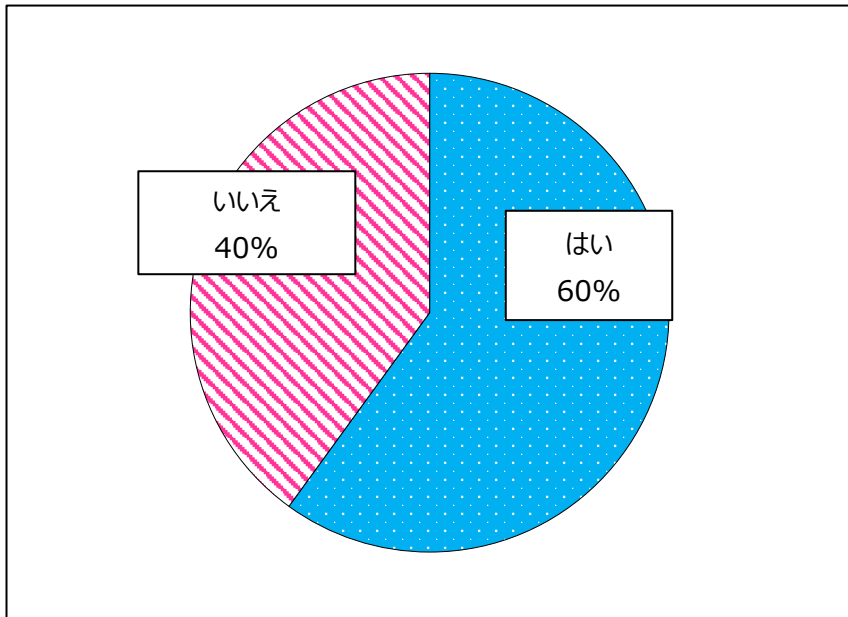
設問14 使い捨てのプラスチック製品で、あなたが減らすことができると思うものはありますか。（複数回答可）



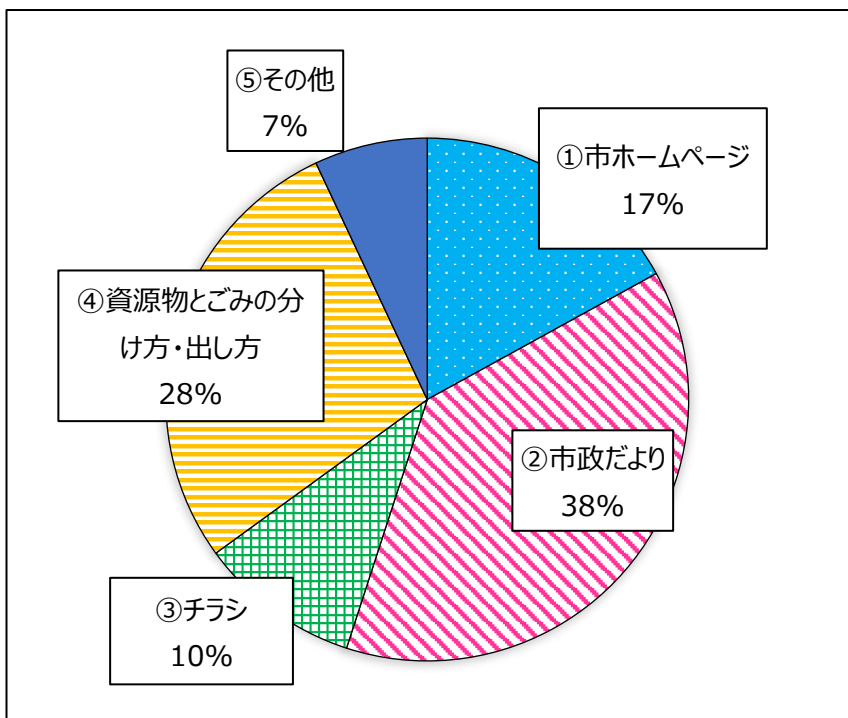
その他の内容

- 洗剤などは詰替え用を購入
- 食品は個包装されておらずばら売りされているものを購入

設問15 川崎市では、令和7年11月から、リチウムイオン電池などの充電式電池を小物金属で収集しています。収集が開始されたことを知っていますか。



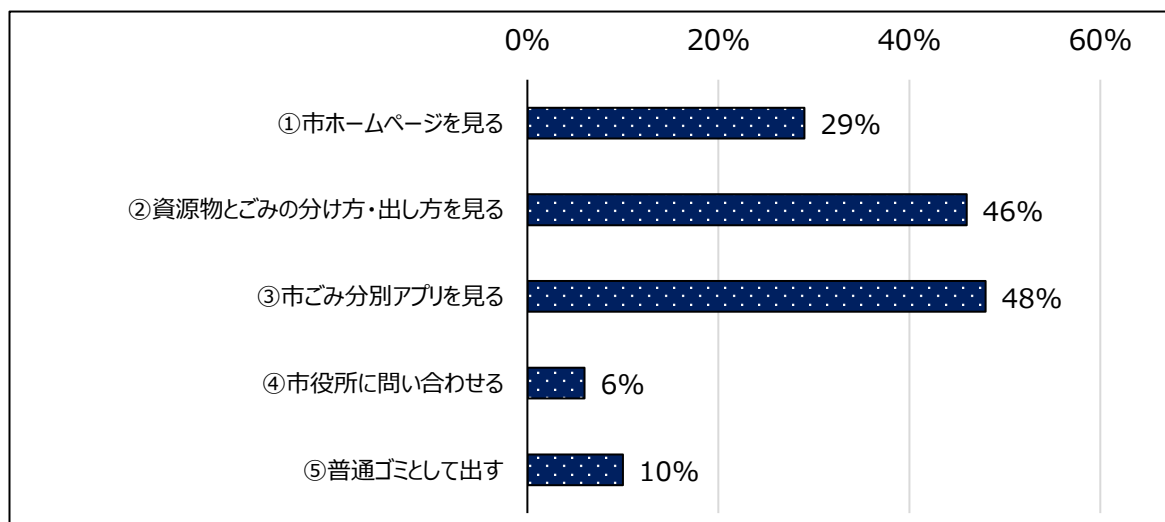
設問16 【設問15で「はい」と回答した方】何でお知りになりましたか。



その他の内容

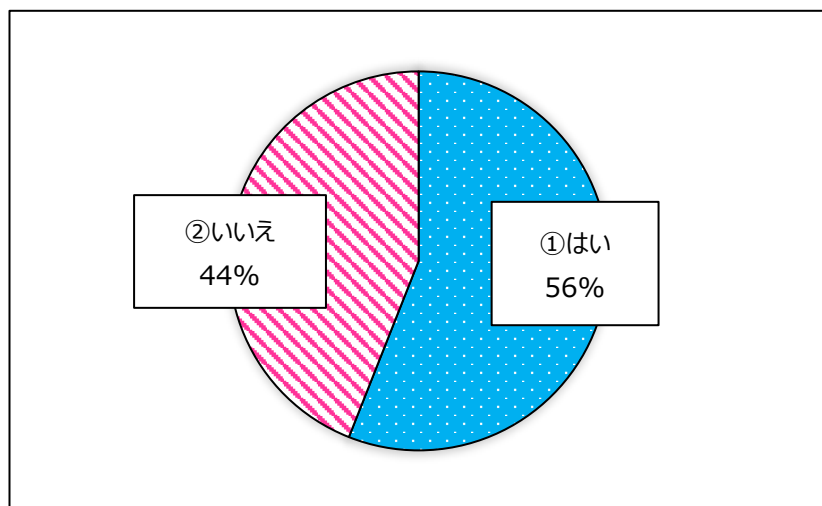
- 回覧
- テレビ

設問 17 ごみの分別に迷った際にはどのようにしていますか。(複数回答可)

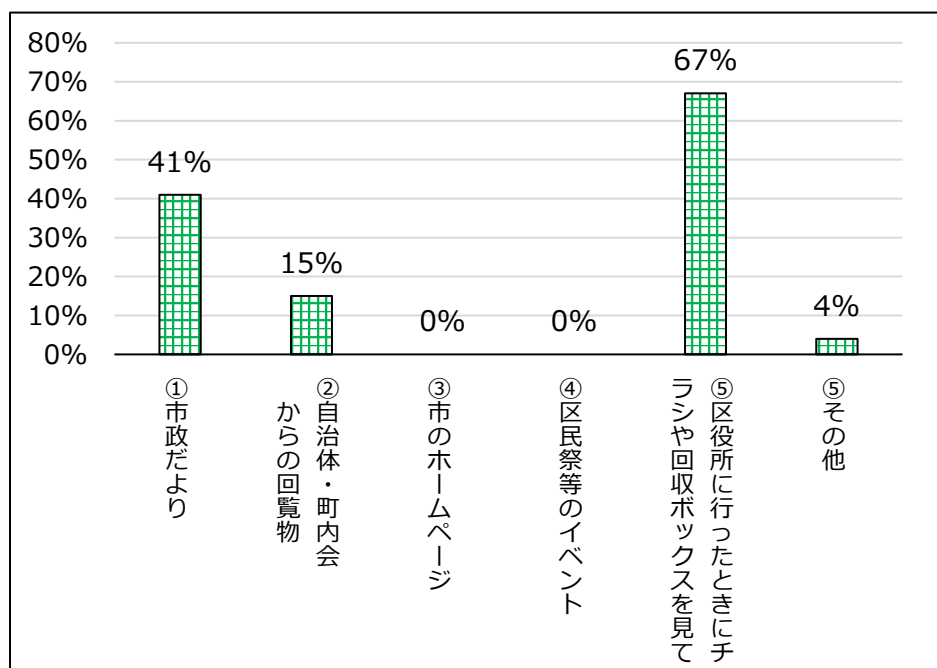


《拠点回収事業について》

設問 18 川崎市では、拠点回収事業として、小型家電・布類・牛乳パック・蛍光管・インクカートリッジを区役所等市内公共施設に回収ボックスを設置し、回収していますが、御存知ですか。



設問 19 【設問 18 ではいと回答の方】拠点回収事業についてどこでお知りになりましたか？(複数回答可)



その他の内容

- ・家族から教えてもらった

設問 20【設問 18 でいいえと回答の方】現在、拠点回収場所を次のとおり設置しています。

「区役所、支所、出張所、生活環境事業所、ヨネッティー王禅寺、かわさきエコ暮らし未来館・王禅寺エコ暮らし環境館、CC かわさき交流コーナー、川崎市複合福祉センターふくふく」
※品目によっては、設置していないものもあり。

今後新たに公共施設に設置する場合、どこに設置するとよいと思いますか。

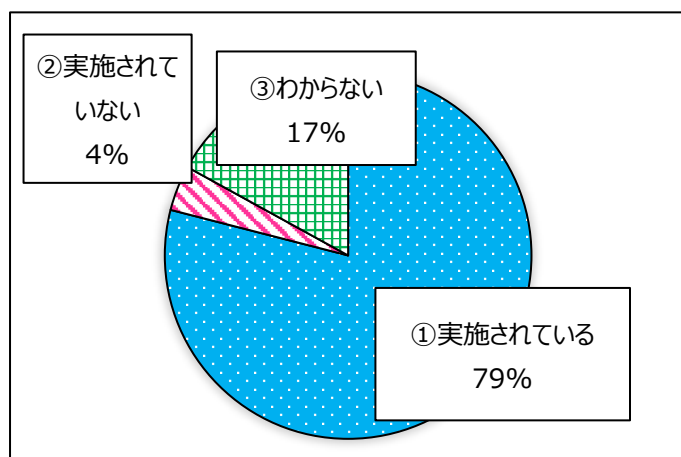
日常的に利用しやすい場所として、駅・駅前、図書館、スーパーやショッピングセンター、コンビニ、学校などへの設置を望む声が多くありました。広さがあり車も入りやすい公民館や大規模施設、郵便局・家電量販店などの提案もありました。また、自宅付近に公共施設が少なく現状の回収場所が遠くて困っているという地域格差への指摘もみられました。

《資源集団回収について》

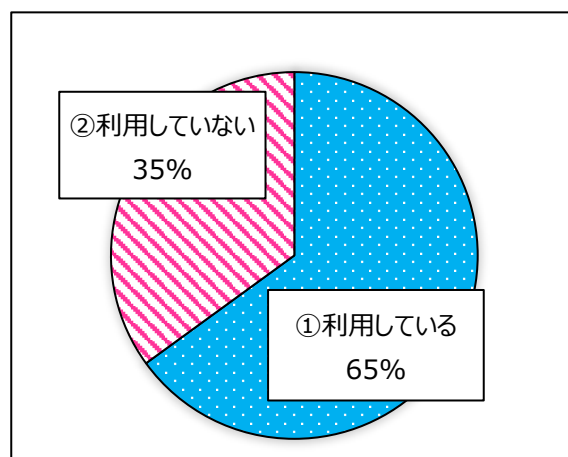
設問 21 お住まいの地域では『資源集団回収』が実施されていますか。

設問 22 地域で行われている『資源集団回収』を利用していますか。

設問 21

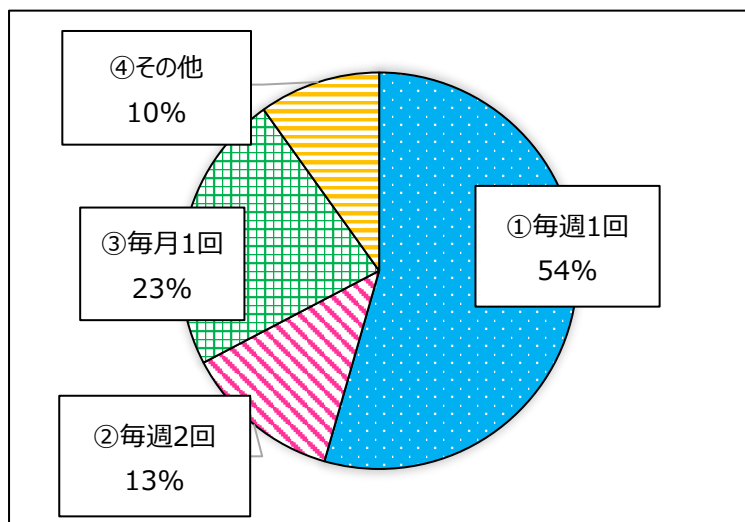


設問 22



『資源集団回収』とは、町内会や自治会、PTA等地域の市民で組織される団体が、回収日時・回収場所を決め、新聞・雑誌・段ボール等の資源化物を自主的に回収し、回収業者に引き渡す活動です。

設問 23【設問 22 で利用していると回答の方】お住まいの地域の回収頻度を教えてください。

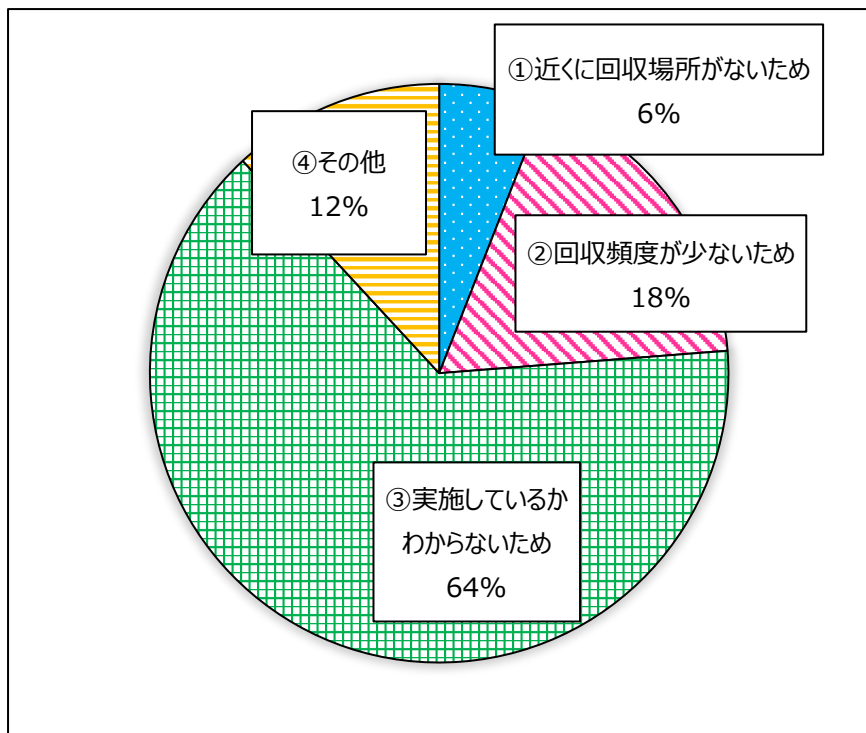


その他の内容

・月2回



設問24 【設問22 で利用していないと回答の方】 利用していない理由を教えてください。

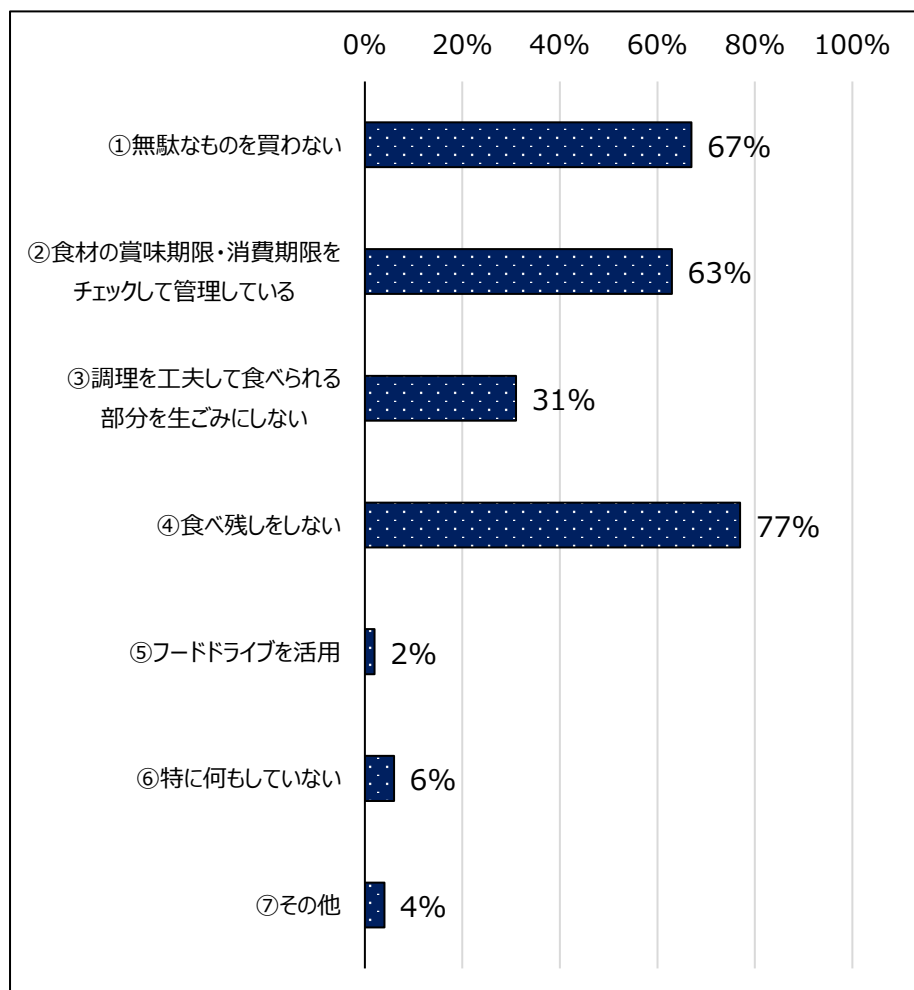


その他の内容

- ・マンションの分別で十分だから
- ・面倒に感じるため

《生ごみについて》

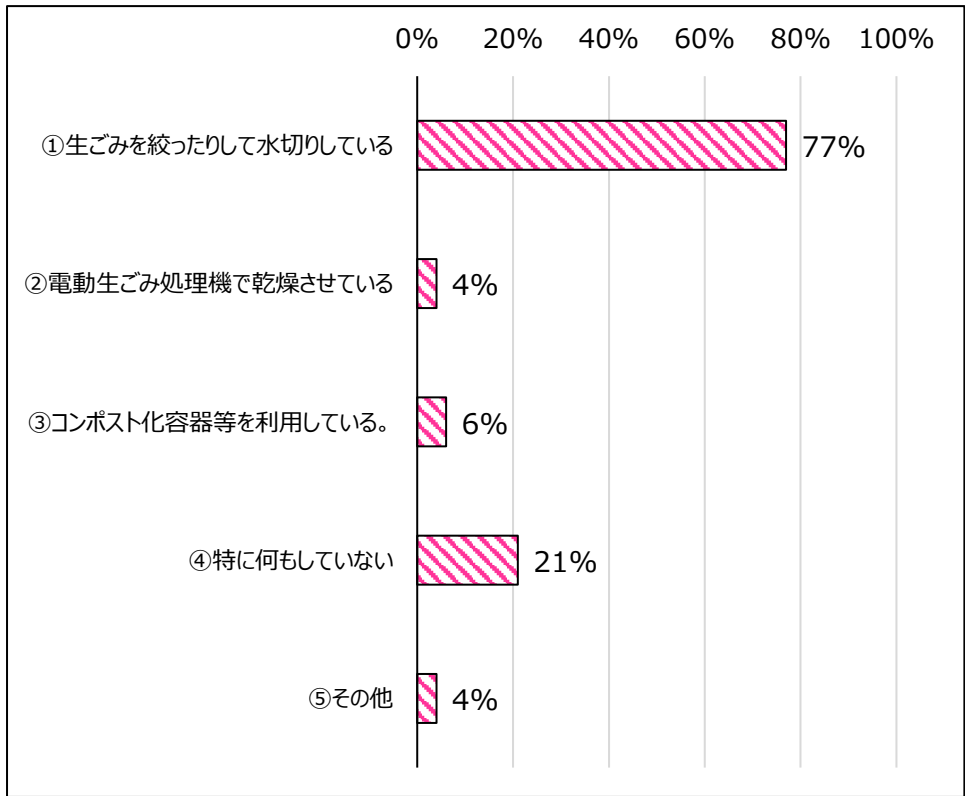
設問25 生ごみの発生量を少なくするために、何か取組をしていますか。(複数回答可)



その他の内容

- ・デスポーザーを利用

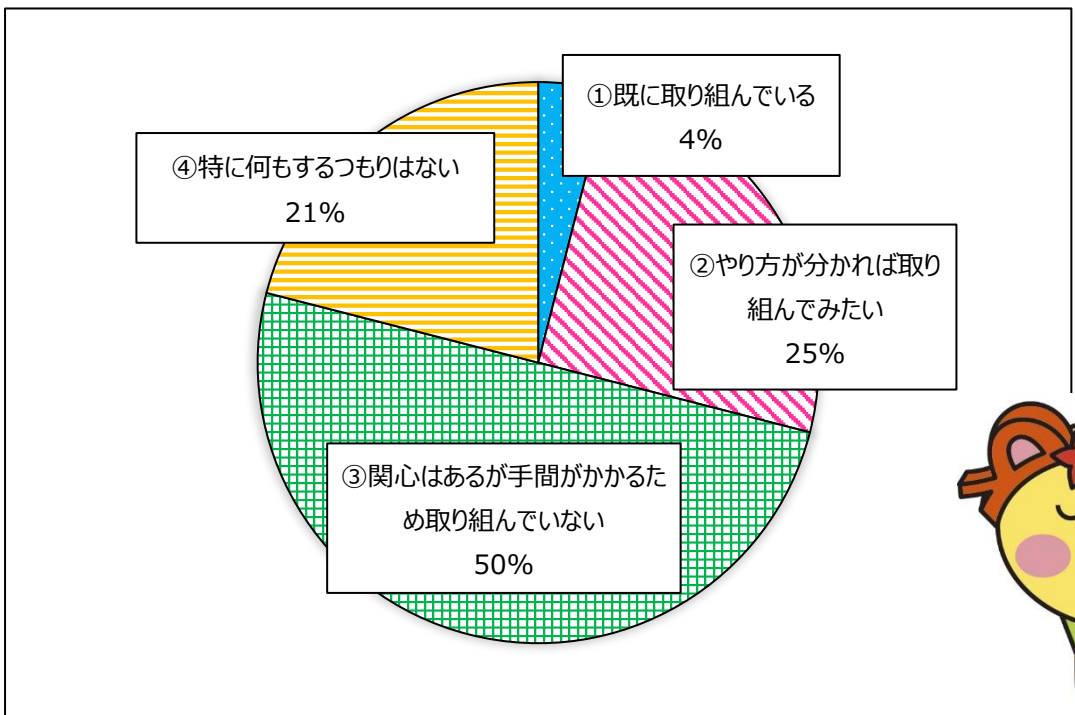
設問26 生ごみの80～90%は水分で、この水分を減らすことで臭いの問題などを軽減でき、運搬に伴う燃料の消費量を減らすことができると言われています。生ごみの水分を減らすために、何か取組をしていますか。（複数回答可）



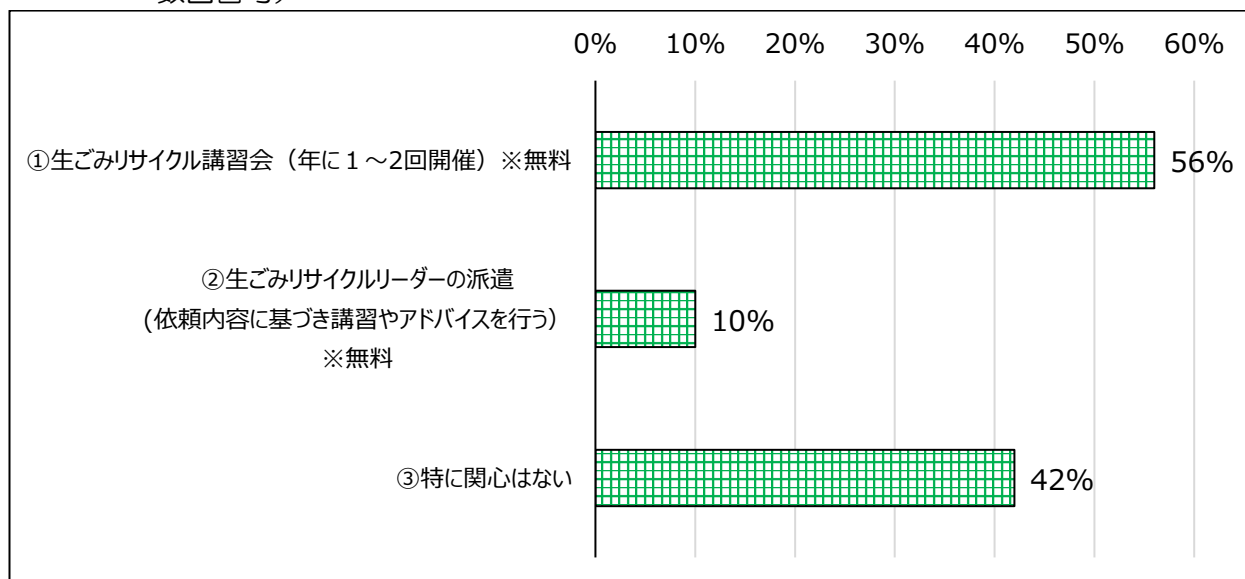
その他の内容

- デイスポーターを利用

設問27 生ごみを減らす取組として、コンポスト化容器等により生ごみを堆肥化する方法があります。生ごみの堆肥化に取り組んでいますか。



設問28 生ごみの減量化・資源化の取組として、生ごみの堆肥化について紹介やアドバイス等を行う取組をしていますが、次のいずれかについて、受けてみたいと思うものを教えてください。（複数回答可）



《消費生活とごみの減量・リサイクル全般について》

設問29 今後は、地球環境全体を視野に入れ、「ごみをつくらない社会」「市民・事業者・行政が協力し合える関係」が必要だと思われます。私たち一人ひとりが、資源を大切にし、環境に極力負担をかけない生活スタイルにしていくとともに、そうした気持ちを実際に生かしていかなければなりません。『実現に向けての御意見』や『これからの決意』、『わかっているが、なかなかできないこと』など、御自由に御記入ください。【200文字以内】

《自由回答》

1 日常生活でできる取り組み

- エコバッグ利用、無駄な買い物を控える、過剰包装を避ける
- ごみ分別の徹底、買い過ぎ防止、食べ残しをしない
- 持ち物を長く使う、家庭内のごみを減らす工夫
- 生ごみの肥料化への関心

2 プラスチック・過剰包装への課題意識

- プラ包装商品が多く、ごみが増えてしまう
- パッケージを単一素材にしてほしい
- 過剰包装の削減を望む声
- 子ども向け付録など「不要なプラごみ」への課題意識

3 行政・企業・社会全体への期待

- 行政の継続的な呼びかけ、周知活動の強化
- 消費期限間近食品の割引促進など、市の取り組みを期待
- 教育の重要性（特に小学校からの環境教育）
- 企業側の梱包簡易化・素材選定の見直し
- 専門リーダー育成や地域啓発の必要性

《自由回答》

4 これからの決意・価値観の変化

- 無理なく続けられる工夫を周囲に広げたい
- 大量消費から「資源を大切にす価値観」への転換
- 毎日の行動が地球規模の問題につながるとの認識
- 良い行動を習慣化させたいという前向きな声

5 実践の難しさ・矛盾を感じる点

- エコバッグを忘れる、結局ポリ袋も買う
- 通販段ボールや緩衝材が多い
- プラごみを減らしても、分別のためゴミ袋が増える
- 高齢者・単身世帯では取り組みにくい場面も
- 生ごみ処理機が高く導入が難しい
- 安いと買ってしまふなど、意識と行動のギャップ

6 提案・アイデア

- フリーマーケットの開催
- プラ包装のリサイクル促進（洗って細かく分別して活用してほしい）
- ゴミ袋の有料化で分別を進める案
- 段ボール・古紙の回収頻度を増やす提案
- 環境負荷の「見える化」を求める声

■全体のまとめ

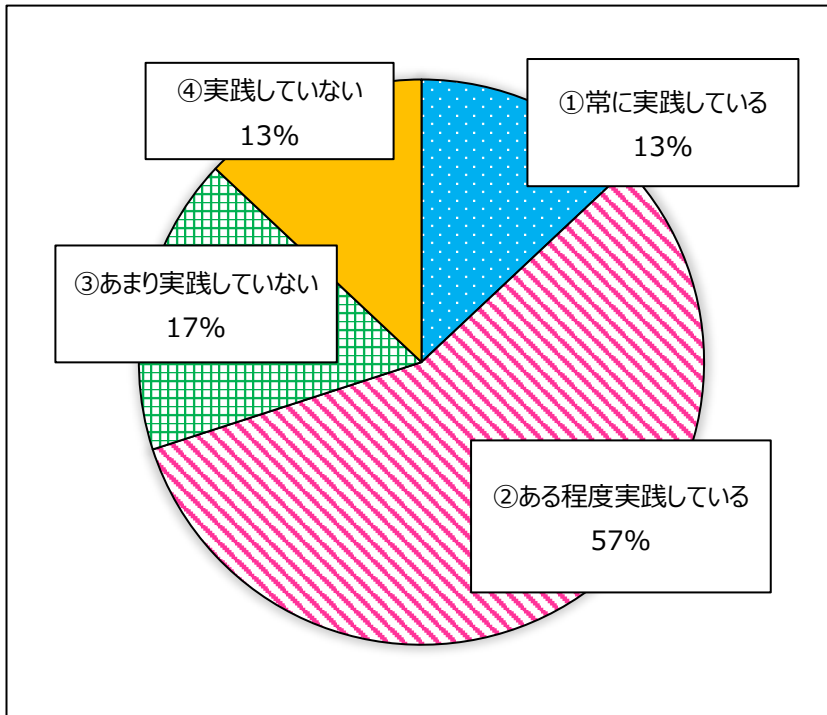
回答全体を通して、

- 身近でできる取り組みを続けたい意欲
- プラスチックや過剰包装への強い問題意識
- 行政・企業・社会全体での仕組みづくりへの期待
- 意識はあるが、実践には難しさもあるという葛藤が共通して見られました。

2. 地球温暖化対策について

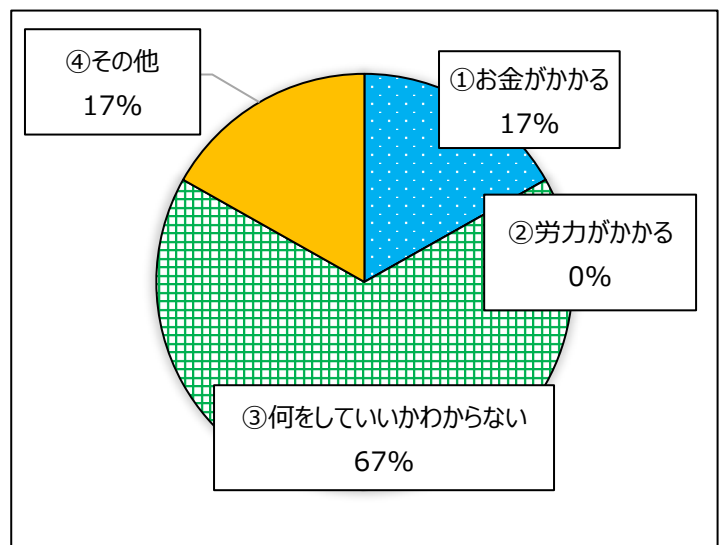
《日常生活における意識について》

設問1 日常生活において環境配慮型の生活を実践していますか。

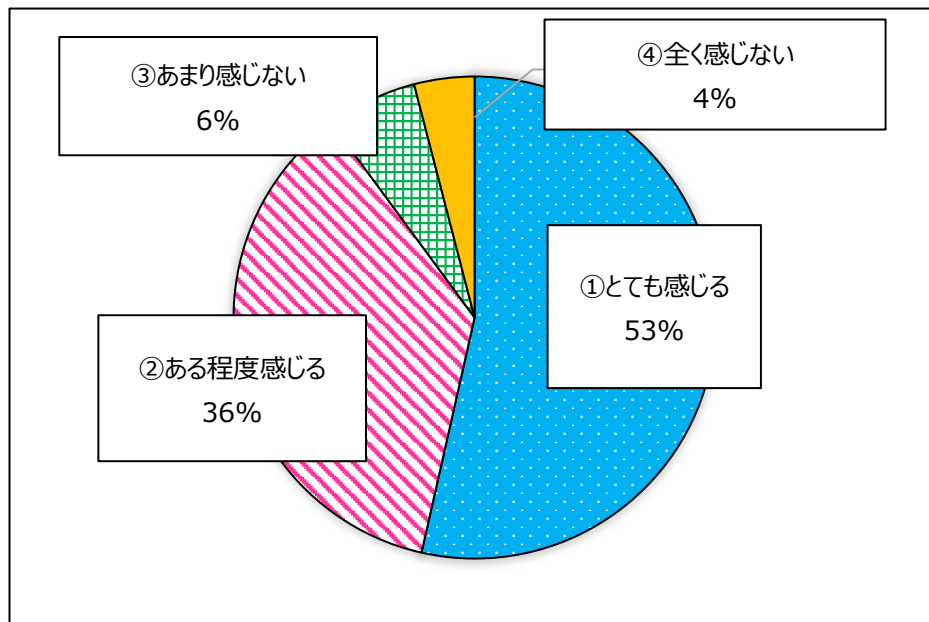


設問2 【設問1で実践していないと回答の方】 実践していない理由は何ですか。

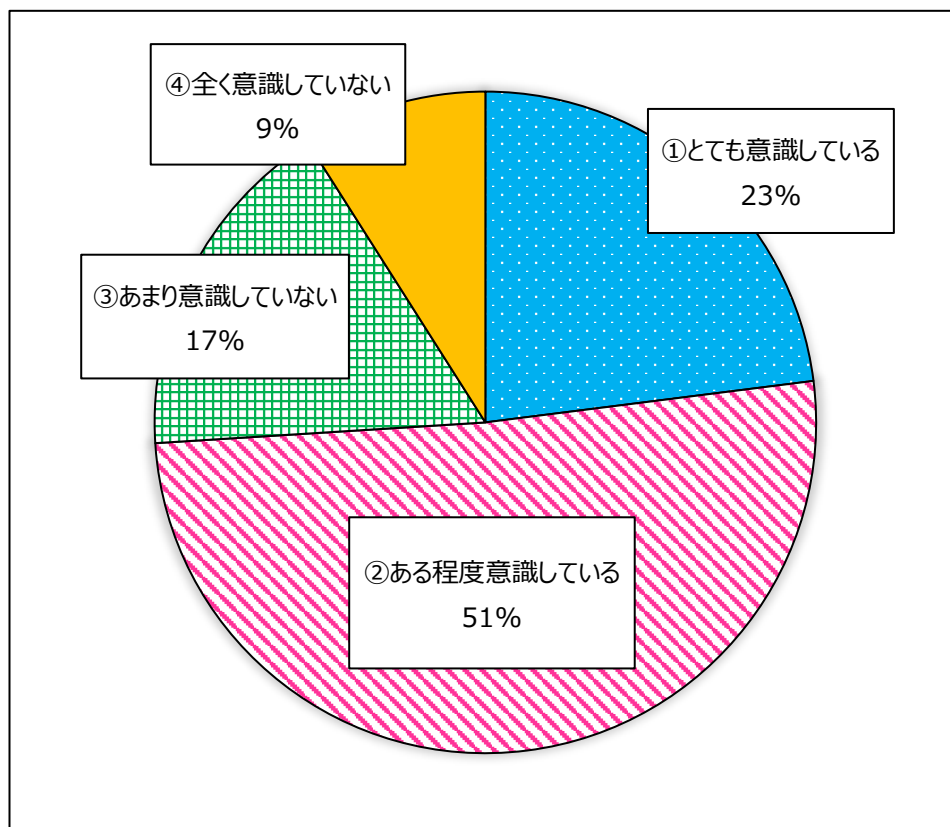
- 普段の生活で直接的に「環境配慮型」を意識することはない。



設問3 昨今の地球温暖化の進行について危機感を感じていますか。

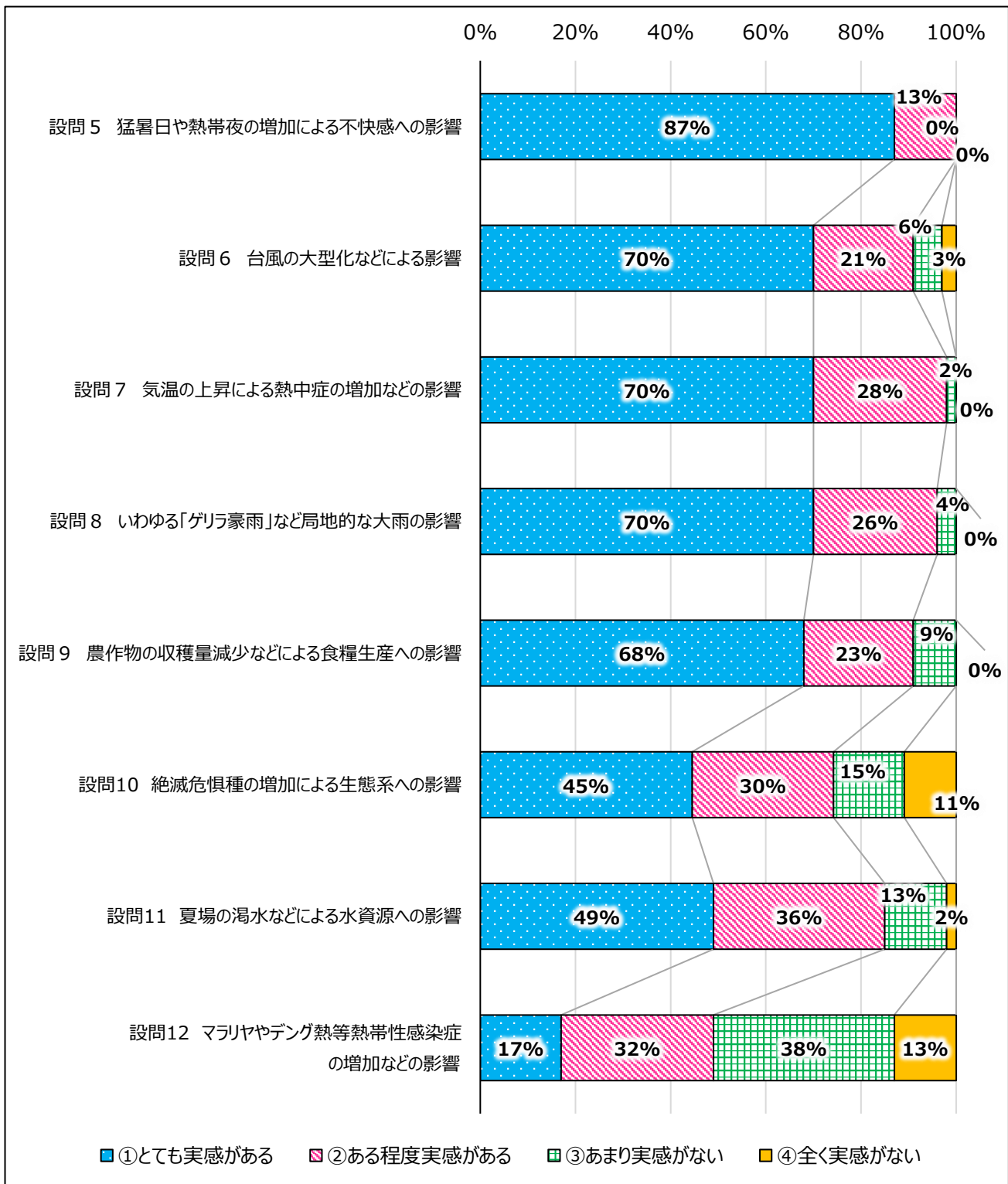


設問4 日常生活の中で地球温暖化対策について意識していますか。



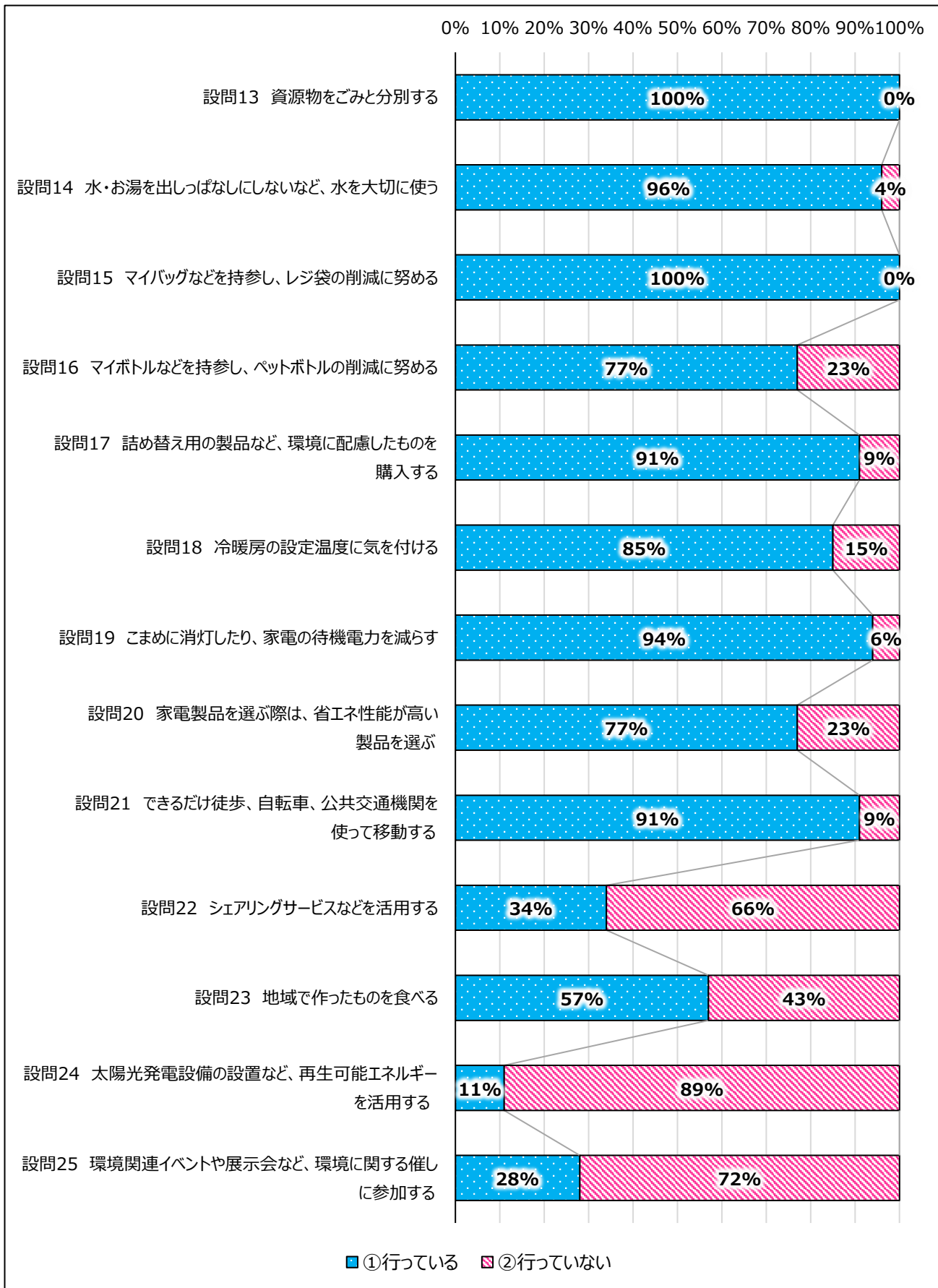
「地球温暖化による気候変動の影響（猛暑日や局地的大雨の増加など）について」

設問5～12 次のことについてどのように感じていますか？



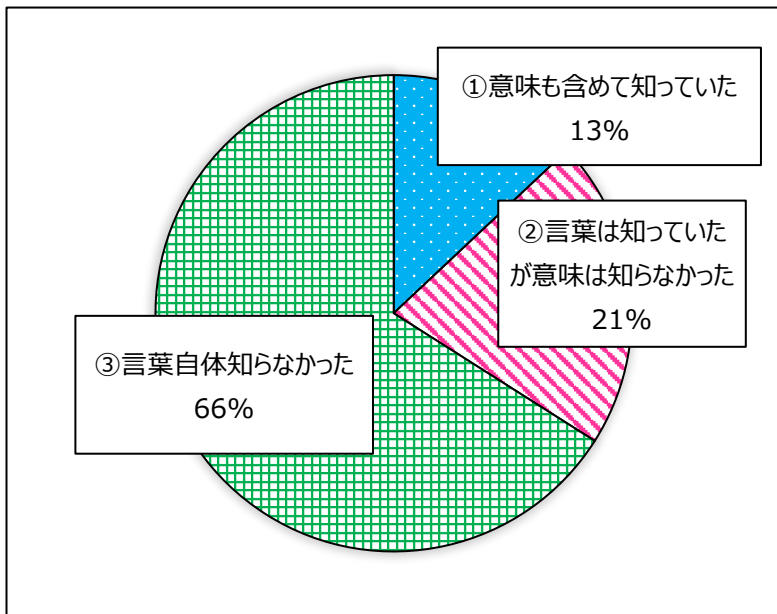
《個人でできる「緩和策」について》

設問 13～25 次の「緩和策」を行っていますか？



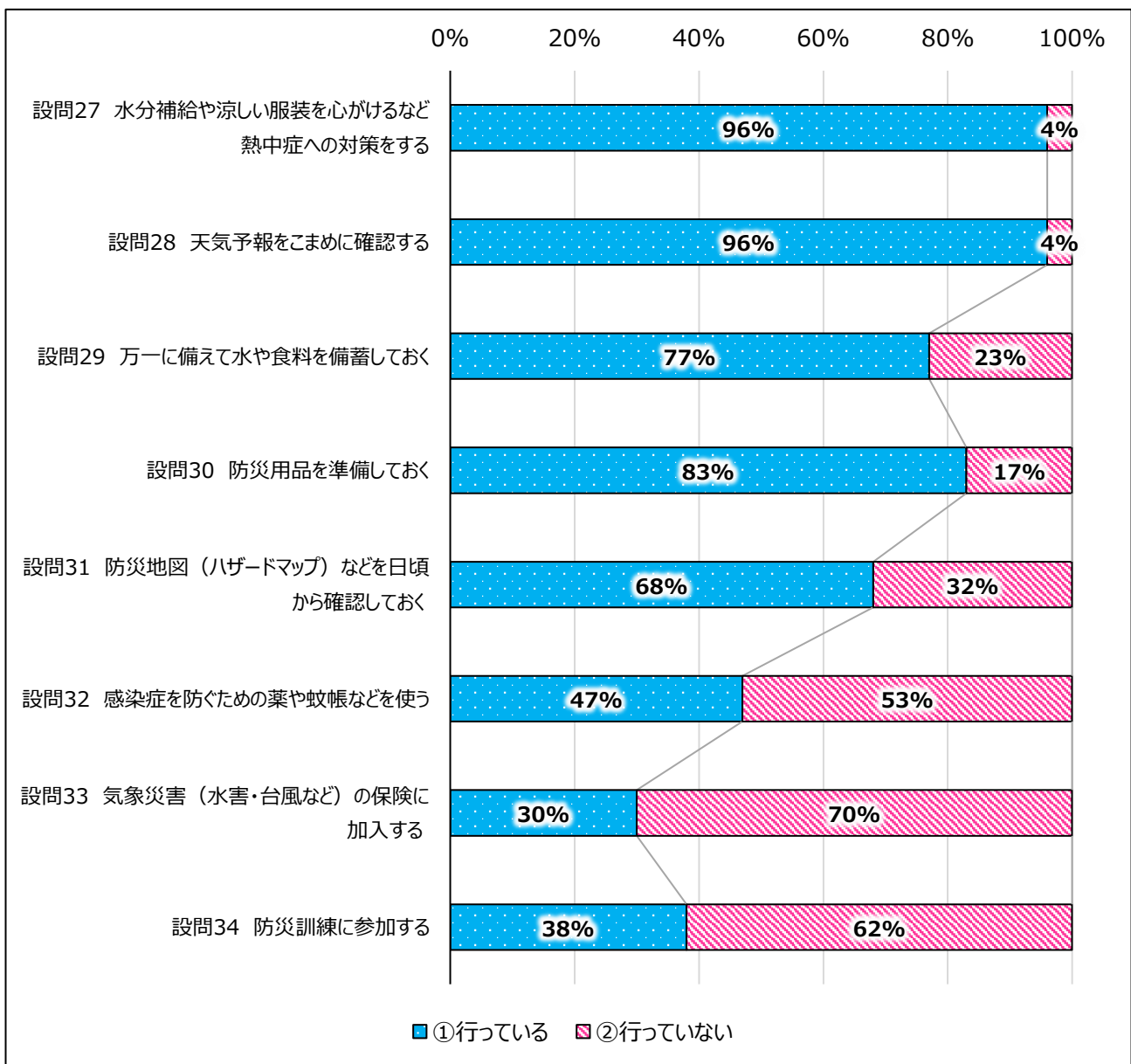
《「適応策」について》

設問 26 気候変動の影響に対する「適応策」について知っていましたか。



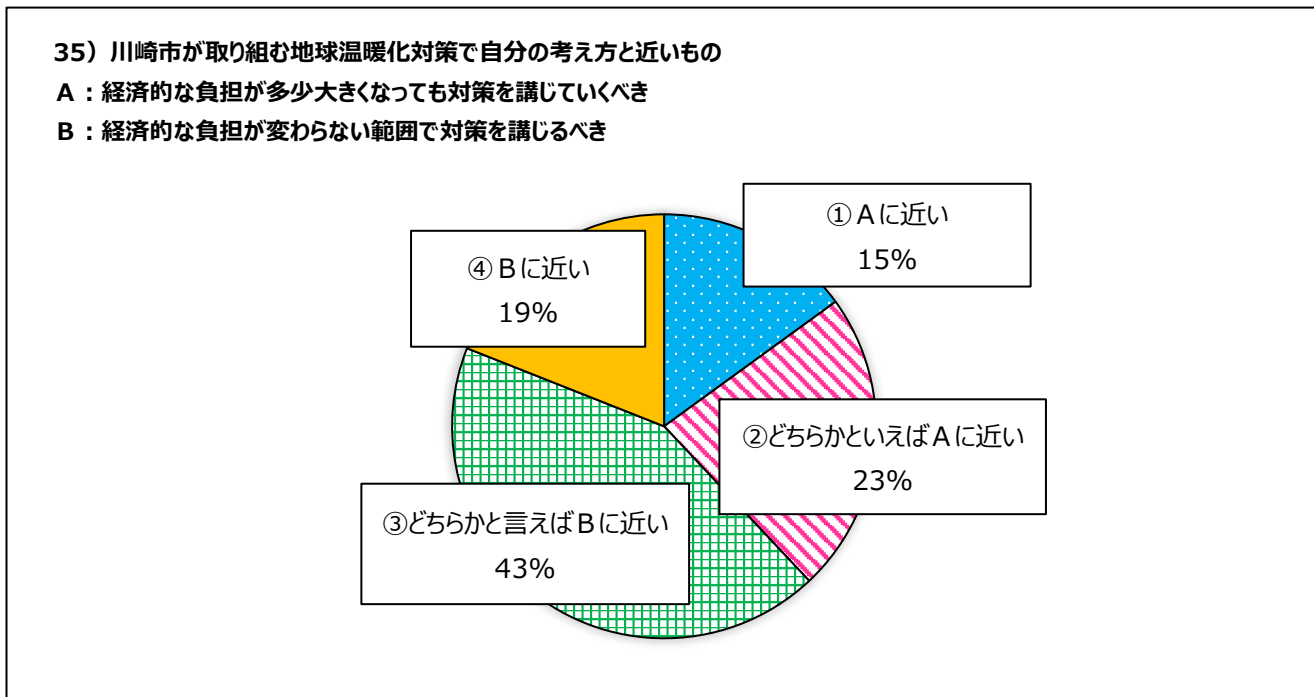
「適応策」とは、「緩和策」に対して、既に生じている気候変動の影響や将来予測される気候変動の影響を軽減するための対策（災害時の備え、治水対策、熱中症対策など）のことをいいます。

設問 27～34 次のような個人でできる「適応策」を行っていますか？

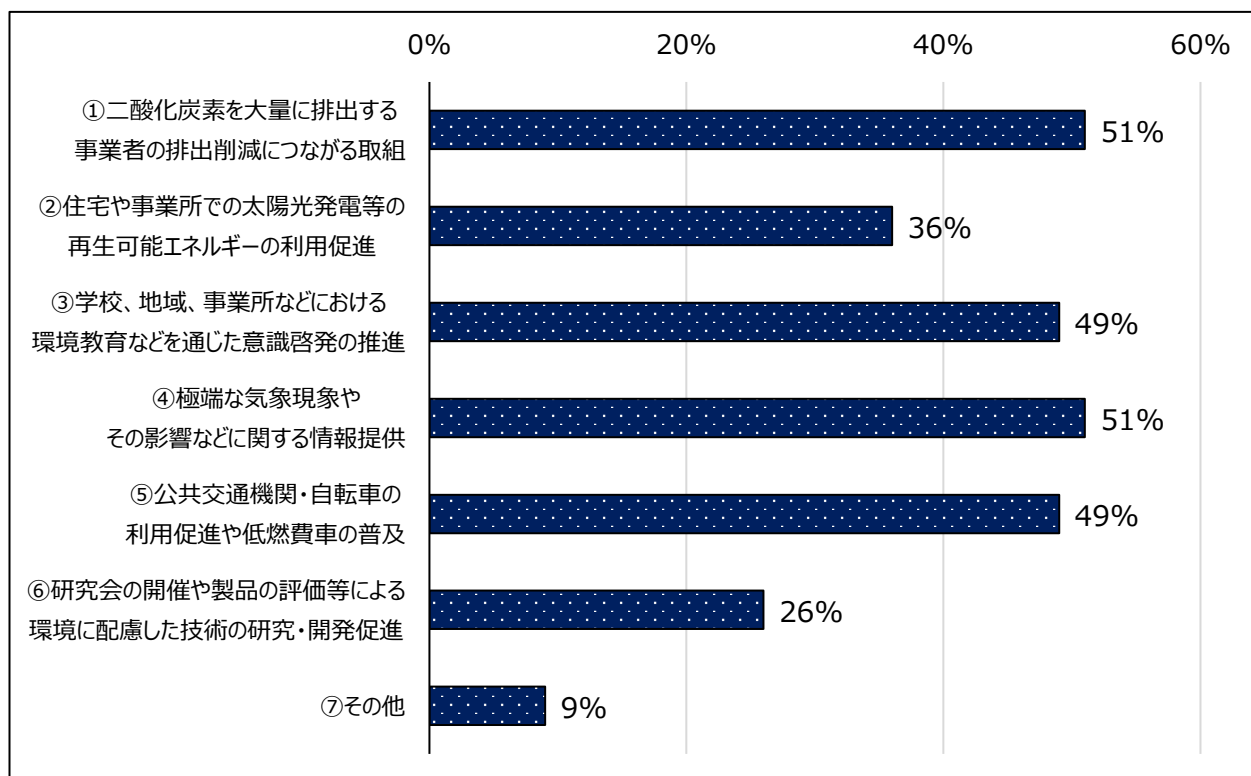


《川崎市の地球温暖化対策について》

設問 35 川崎市が取り組む地球温暖化対策について、次のAとBの考え方はどちらの方があなたのお考えに近いですか。最も当てはまるものを1つだけ選んでください。



設問 36 今後、川崎市に取り組んでほしい地球温暖化対策は何ですか？（複数回答可）

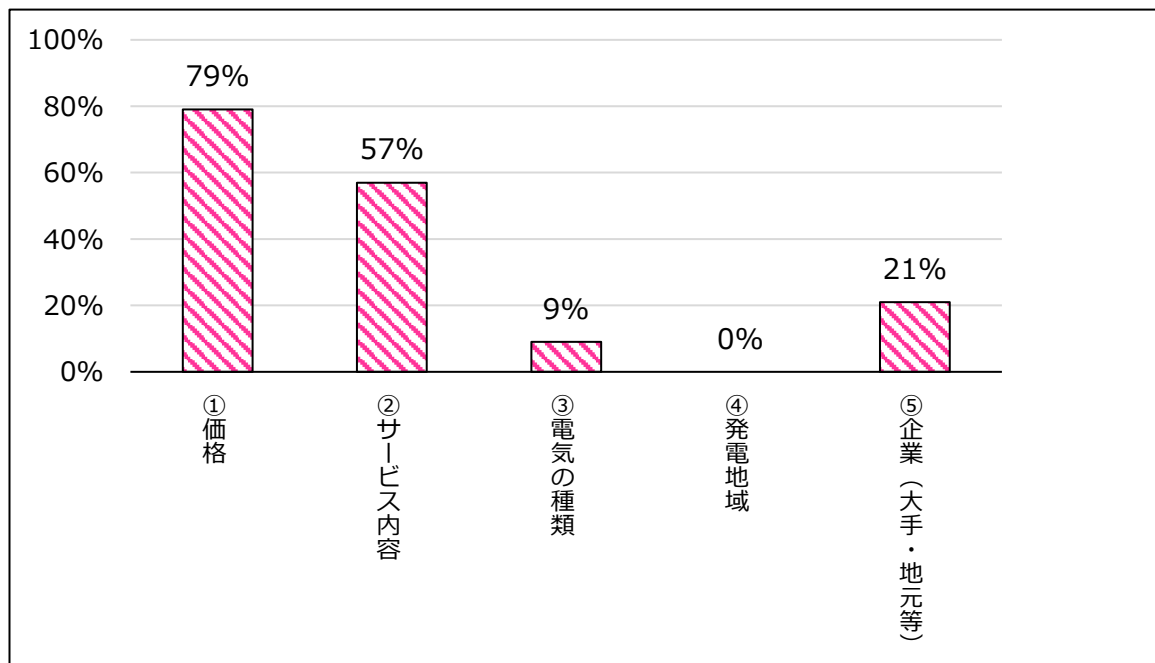


その他の内容

- ・ 住宅の断熱性能を格段に向上させるための方策提案、業者提供や資金的補助が必要
- ・ 地球温暖化の真偽について色々あるため対策を行うことに反対。

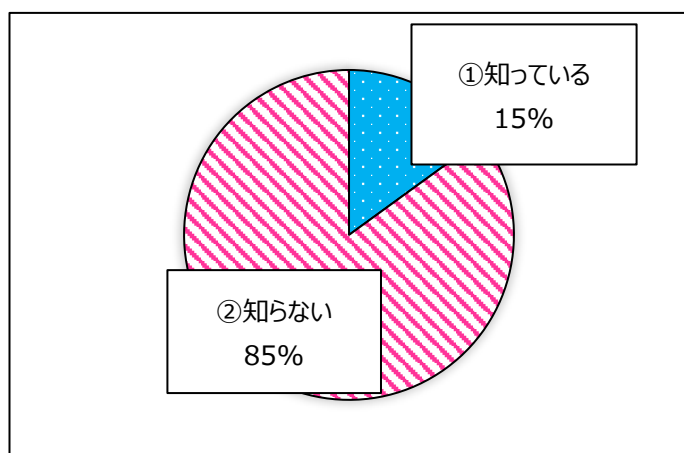
《電力会社の選定理由について》

設問 37 平成 28 年 4 月から、一般家庭等すべての需要家が電力会社を選べるようになりましたが、電力会社を選ぶ際に何を重視しますか。（複数回答可）



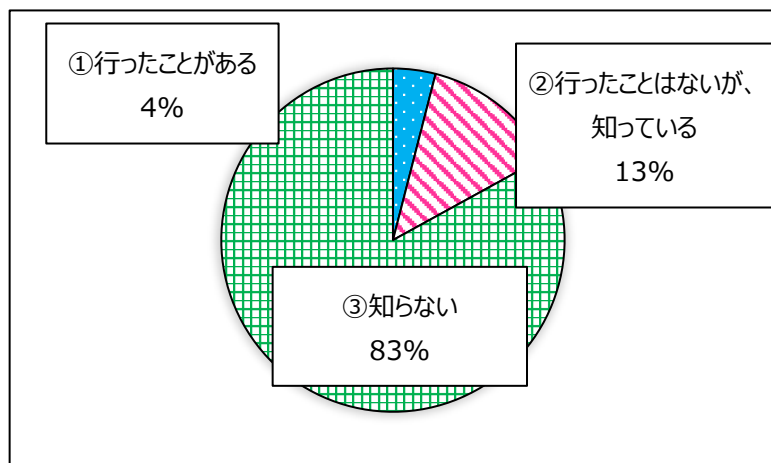
《川崎市の取組や施設について》

設問 38 脱炭素モデル地区「脱炭素アクションみぞのくち」を知っていますか？



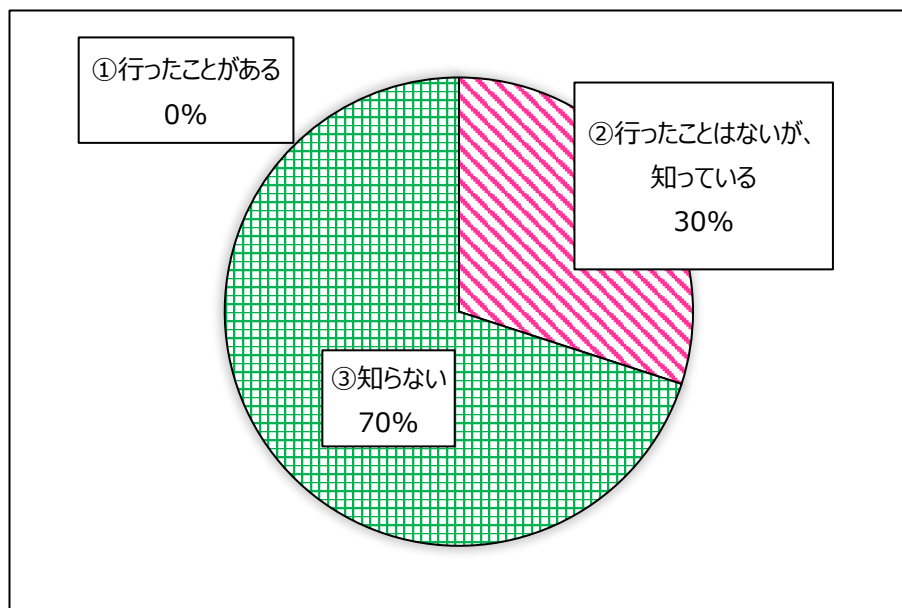
川崎市では、高津区溝口周辺地域を脱炭素モデル地区「脱炭素アクションみぞのくち」に設定し、脱炭素化に資する身近な取組や先進的な取組を集中的に実施することで、市民一人ひとりの環境配慮型のライフスタイルの行動変容を促し、脱炭素社会の実現を目指しています。

設問 39 川崎市地球温暖化防止活動推進センターを知っていますか？

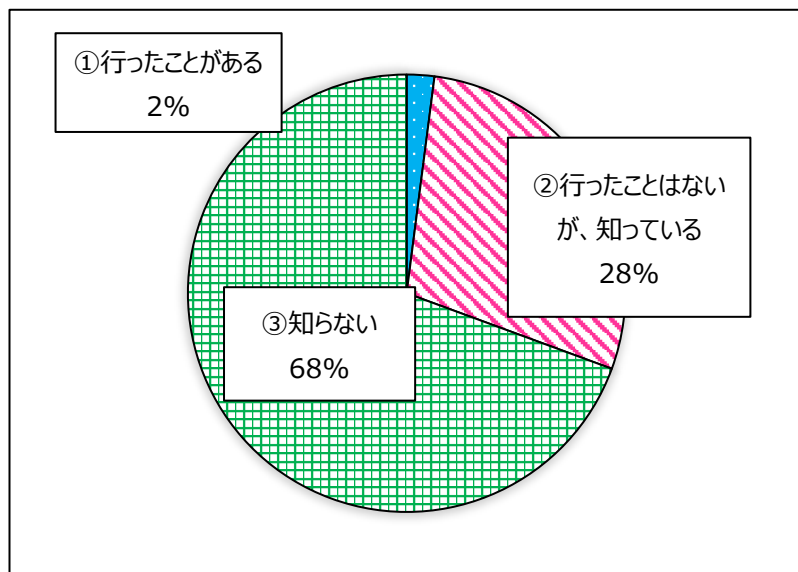


川崎市では、川崎市地球温暖化防止活動推進センターを指定し、地球温暖化防止対策の普及啓発を推進しています。当センターでは、高津市民会館内に設けた情報発信拠点「CCかわさき交流コーナー」を運営し、地球温暖化防止対策に関する取組の相談・パネル展示・講座の開催等を行っています。

設問 40 川崎市内には、浮島町と扇島に合計出力約 2 万 kw の大規模太陽光発電所（メガソーラー）があります。大規模太陽光発電所（メガソーラー）を知っていますか。



設問 41 かわさきエコ暮らし未来館を知っていますか？



浮島町にはメガソーラーを始めとした再生可能エネルギーや、地球温暖化、資源循環について体験型の展示で学べる環境学習施設「かわさきエコ暮らし未来館」があります。

《地球温暖化対策全般について》

設問 42 地球温暖化対策について、御自由に御記入ください。

《自由回答》

A. 意識啓発・情報発信に関する意見

- 地球規模の課題であるため国際的な取組が重要だが、まずは一人ひとりの意識向上と、国や自治体からの分かりやすい発信が必要だと感じる。
- 「脱炭素」という言葉が分かりにくい。市民に伝わりやすい表現に工夫することで、取組への参加が進むのではないか。
- アンケートを通じ、知らなかった取組が多いと感じた。広報や周知をさらに強化してほしい。

B. 健康・生命への影響への懸念

- 近年の酷暑や豪雨など、温暖化の影響が日常生活や生命に直結していると強く感じている。
- 夏の高温化・長期化が進んでおり、住環境（住宅の断熱性能など）への直接的な対策が急務だと思う。
- 実際に熱中症で倒れた人を救護した経験から、温暖化対策は命に関わる重要な課題だと実感している。

C. 個人でできる行動・参加意欲

- 自分にできる範囲で、引き続き温暖化対策に取り組んでいきたい。
- 小さなことでもコツコツ続けることが大切だと思う。
- 何に取り組めばよいのか具体的に分かりにくいいため、参考となる情報がほしい。

D. 効果の「見える化」を求める意見

- 温暖化対策を続けてきたが、効果が実感できない。対策の成果を分かりやすく示してほしい。
- 個人の行動がどの程度効果を生むのか、定量的に示されると意欲につながると思う。
- この先、行動した場合としなかった場合の将来像を知る機会があれば学びたい。

E. 行政・政策への期待

- ルール化や制度化が進まなければ、多くの人が一体となって取り組むのは難しいと感じる。
- 市政ニュース等で、エコ関連施設や取組をもっと紹介してほしい。
- イベントや学習の機会を増やしてほしい。

F. エネルギー・環境配慮への意見

- 環境対策の名の下で、地域環境や景観を損なう取組は本末転倒だと思う。
- 生態系の破壊により、これまで当たり前だった食の環境が失われることを懸念している。
- 家庭でも利用できる、より身近でコンパクトな再生可能エネルギー技術の早期実用化を期待する。

G. 国際的な取組への見方の多様性

- 国際的な枠組みや目標設定のあり方について、慎重な議論が必要だと考える意見もあった。

市民からは、地球温暖化が健康や生活に与える影響への強い懸念とともに、分かりやすい情報提供や対策の効果を「見える化」することを求める声が多く寄せられました。また、個人の行動を後押しする制度や学習機会への期待、環境と地域の調和を重視すべきとの意見も見られました。

